

平成 23 年度第 3 回公民館運営審議会議事録
(要点)

日 時 平成 23 年 7 月 8 日 (金) 午後 7 時～9 時
場 所 永山公民館 4 階 視聴覚室
出席者 委 員 6 名
職 員 5 名
同席者 1 名
傍聴者 1 名

司会進行一 委員長

1. 内 容

(1) 職議事署名人 委員を指名する

(2) 事業進捗質疑

① 平成 23 年度主催事業進捗状況 ……資料 1

委員長 ベルブゼみ「①自分史、②CMをつくってみよう」は面白い取り組みになっている。第 1 期の応募状況はどうか。

事務局 自分史は 20 名定員で 20 名 (男性 8 名・女性 12 名) の応募があった。最終的には小冊子にまとめられるので読んで頂きたい。

② 公民館施設別使用状況 ……資料 2

事務局 差替え分は、永山公民館の 4 月使用可能件数に夜間閉館 (4 / 1 ~ 4 / 24) 中の夜間分が含まれていたため修正した。

関戸公民館はヴィータホール 59.5%、昨年度比 -17.9% である。座席転換のために週 2 日 (火・金) 午前分を公民館利用枠として実績に入れていた。昨年 10 月から時間外に座席転換を行って、利用できる状況にしている。その割合が 10% 近くある。今後も節電対策等で利用し難い状況にあるが、工夫をしながら利用率を上げる努力をして行く。

委員長 両館とも 4 月と 6 月の比較で使用人数が増えている。ただし、永山は利用率が 79.6% から 70.0% で下がっている点はどうか分析しているのか。

事務局 ギャラリー 4 月使用率は 106.5% で全体の数字を僅かながら引き上げている。普段はもう少し低い (6 月 53%)。使用料はホールから和室までは午前・午後・夜間に割り振られている。ギャラリーは終日で、時間貸しをしていない。夜間閉館しているけれども夜間を使っている状態で、この辺が数字を悪戯している原因である。4 月は少ない単位の中で利用率が高くなっている。

委員 ギャラリー利用者から「17時に展示が終わって、シャッターを降ろした後でも点灯していれば作品を見てもらえるのに」と言われた。

事務局 展示物を公民館側では管理できないので、開けているときは団体の方の常駐が前提である。

委員 シャッターは降りたままでも構わない。

委員長 節電対応ではないですね。

事務局 趣旨とすれば節電対応であって、人が入らない所は消灯が前提となる。両館での対応を含めて協議したうえで、次回以降に返事をする。

議事①生涯学習推進計画について

委員長 第3次多摩市生涯学習推進計画（案）について報告して下さい。

事務局 事務局からポイントについて説明を頂いて、また、委員が策定委員会に参加しているので情報提供を頂いた中で議論して頂きたい。

事務局 現時点では「策定委員会でのまとめの近くにある」ということで、最終的には推進本部（市長・部長）会議で決定し、パブリックコメントに掛けた後で、本部会議で決定をしていく。

資料「第3次多摩市生涯学習推進計画（案）」を説明する。

- I 計画策定について
- II 第3次多摩市生涯学習推進計画
- III 推進項目……個別施策

委員 第3次推進計画は初めて市民参画の形を取った。市民参加ではあるが、行政の中で専門部会や本部会議を繰り返していく間に市民の策定委員会が開かれる。だから、同席することはなく、我々の意見を踏まえて専門部会が開かれるローテーションで、すでに3～4ロールされている。そんな中で、前回会議で審議を終え、細かい修正は、委員長・副委員長に任せることでコンセンサスが得られた。

この審議会でも話していた「地域」という言葉の定義のこと、いろんなところで使うけれども地域が何を指すのか。12頁：「まち＝（多摩市）」で整理されている。これがないと、いろんな部署から「地域」とか「まち」という言葉が出るたびに該当するものが違ってくると困る。そこは一つとして整理がされた。

委員長 質問や意見を出して下さい。

委員 12頁：「まち＝（多摩市）」、「地域＝（コミュニティ）」とあるが、ある意味ではイメージし難い。一般論的な言葉で終わっている。「多摩市」であるならば、地域をもう少し明確に書いてしまう。多摩市で「コミュニティといたら何なのか、地域といたら何なのか」ということは明確にしていた方が良い。

もう一つは、個別施策の中で成果指標に「現状値」と「目標値」があるけれど、目標値の設定がどういう趣旨で、こういう数字となっているのか分からない。

事務局 地域については議論があって、なかなか分けることができない。また、地域と地域を結び付ける、人と人との繋がりがあるので、区域の特定は難しい。現状としては、地域はコミュニティの範囲（コミュニティエリアではない）内である。

成果指標については、もう一つ相応しいものがあるので追加資料を入れる予定である。指標がないものは入れ替わることが大前提となっている。

委員 まちづくりとか地域づくりということで焦点化して絞り込んでいる。だから、地域づくり・まちづくり推進計画みたいな感じになっていく。そのときに、1頁：最後の行に「社会性・公共性」が出て来る。これも一つのキーワードとなって、今回は「社会性・公共性を帯びた学習活動」に絞り込んでいる。ここから毀れ落ちてしまうものが生涯学習の枠の中にあるのではないのか。どういう議論があったのか。

事務局 区域の繋がり・まちづくりに繋げていくということで、行政がお金を掛けてやっていくための部分なので「社会性・公共性」となっている。

委員 「まちづくり・地域づくりに貢献するとか、関係するとか」と「社会性・公共性がある」ということは同義と捉えて良いのか。

事務局 まち全体、人と人々が繋がって地域づくりをして、地域の課題を解決する。そこに焦点を当てて、地域の方から課題を見つけ、行政を含めて解決していく。一緒にやっていくことが大きな柱である。

委員 8頁：計画の位置づけのところに、到達目標が使われるのはどうか。「ゆるやかな方向づけ」という表現がある。ゆるやかな方向づけと到達目標を設定してチェックしていく関係性が読み取り難い。

事務局 「ゆるやかな」ということは策定委員会でキーワードとなっていた。目標を目指して一気に進んで行くのではなくて、みんなと手を繋ぎ合い、カーブを描きながら取り組んでいく。

例えば、体系図 14～15 頁：目指すべき方向に「応援します」と入っている応援がゆるやかな一つである。行政では「支援」と書かけれども、あくまで、側面的な応援を含めて目指すものに対して生涯学習という広い範囲の部分で支えていく、手を繋ぎ合っていくことである。

委員 各事業については主たる目標があって、出来るだけ生涯学習の理念に沿う状況を作っていく。本人が伸びていくことを行政が支援しながら、学んだことを実践する場を広く行政の方で作っていくことと言うと、表現上はこういう言葉が増えていく。確かに遠回しである。難しいのは、文章だけでこう言う、いろんな解釈があるけれど、委員会での討議の中では、こういう言葉は一つずつについて委員の思いを含んでいることを説明付くと分かるのが実態である。

市民参画がなかった第2次までと比べて、活きる部分がある。しかも、達成に向けて市民が応援していく委員会がそこに出来ることを考えると大きな前進である。そういう意味ではストレートではない言葉が、まだ入っていることを感じている。

委員 5頁：グラフ「現在生涯学習をしている」というのはどういう状況なのか。

- 事務局 生涯学習活動をしている。
- 委員 これも焦点を絞り込まれた中でのことなのか。
- 事務局 世論調査の中で、项目的に「生涯学習の現況」ということで聞いているので絞り込まれている。「生涯学習という観点でやっているか、いないか」、広いカテゴリーで聞いている。
- 委員 受け手が「生涯学習がこの括りですよ」と分かったうえでのことなのか。
- 事務局 そうです。
- 委員長 グラフの出し方が、足して100%にならない。故意・意図的に見せたくないものを隠しているようで誤解を招くので100%で示した方が良い。
多摩市の現状と課題をどう捉えるかということでは、少子高齢化がニュータウンに限らず切実な問題がある。その上に立って、社会教育や生涯学習を考えていかなければならない。
- 事務局 退職された方が大勢いるので影響が大きい。反面、「退職された方＝団塊世代、団塊世代＝男性と見られてしまうのではないかと賛否、二つに分かれていた。高齢化についても何らかの形で触れなければならないと思っている。最後のところで策定委員会委員長とも相談したい。
- 委員長 高齢化問題は一般的に言うと非常に深刻で、福祉な問題と捉えがちである。まさに、社会教育、生涯学習推進の担い手が大量に地域社会へ戻って来られる。そういう年齢の方がいることで、逆を言えば肯定的な面としても捉えられる。
- 委員 生涯学習の理念から言うと世代をピンポイントすることがどうかという議論がもう一つの軸である。
- 委員長 年齢階層的に捉えていくと、中年世代・働き盛りの人々の学習をどう支援していくかも課題である。
- 委員 ボランティア関係では、社協とも連携しながらやっていかれるのか。市の方でボランティア活動やサークル団体を立ち上げていくことも支援していくのか。
- 事務局 地域福祉の面では社協が大きな役割を果たしているの、社協やボランティアセンターでやっている事業を入れた。現状では書き方が足りないの、地域福祉関係と連携を含めて、社協・ボランティアセンター事業を例示として書かせて頂く。
- 委員 「ひきこもり」の言葉は、ここでは「孤立しがちな」ということに戻してある。「孤立」の意味であるが、個の中で完結してしまう一人だけの学習ということからそれぞれ連携して、同じ方向に結び付いて、さらなる学習に結び付く。あるいは、それが巡って地域づくり・まちづくりに還元していくような意味をここには含めてある。

事務局 まさに、これが一番のメインである。行政も地域と一緒に手を結んで、課題を見
つけ出し、課題を解決していく。地域から盛り上げて、行政もそれに支えてもらう。
これからまちづくりをして行こうという大きな特徴だと思う。

委員長 最初から最後まで、地域委員会に至るまで地域が全面に目に付いてしまう。逆を
言うと、「地縁」ではなくて「知縁」、また、ニュータウンだとNPO活動とか、地
域をベースにしないネットワークが力を発揮している。そういう問題と地域の地に
足を付けた活動、また、生涯学習は両方を支援するものであって、まちづくりも首
尾一貫しているので、フォロー、その辺の配慮・誤解を生まないようなことが必要
である。

委員 いろんなところで「地域」と言われる中で、地面だけの地域では片付かない部分
も話していくと、いろんな意味が含まれていく。ただ、言葉遊びにならないように
解説をしないと伝わらないから、まとめてみようというのがこれである。

委員 多摩市の行政の中で、やらざるを得ないところがある。一方で、学びたいとい
うときには日本を超えて、世界の人と接したいということがある。この辺は難しいと
ころである。

委員長 NGO活動とか。

委員 インターネット社会だと個人で国際的に繋がってしまうので、行政がどこまで関
わってやれるのか明確にして、テーマコミュニティに対しても位置づけをしておか
ないと分かり難い。また、22頁を見ていると、はっきりと線を引いて、分けてしま
うと難しい。テーマでやれば、年齢も地域も限られた幅でなく広がっていく。絞り
込まれて、そのことだけをやるとなると変わってしまう。

事務局 あえて、世代別に書いたけれども、そう読まれてしまう部分がある。

委員 そのことが点線の囲いの中にあると良いのかな。

事務局 重層的になっていることも少し書いた方が良い。

委員長 むしろ、25頁に世代間交流事業がある。

委員 世代間交流事業は、まとめの中でここに落ち着いた。

委員長 委員それぞれの意見を汲み取って、より良い推進計画にして頂きたい。

②社会教育委員会との統合について

事務局 ②～④は次回の審議議題で、事前予告的なところがある。

社会教育委員の会議から6月に最終的な答申がでた。その中で、(仮称)地域教育
推進審議会の設置に向けて、肯定的な答申がでたところである。同月、教育委員会
にも報告され、正式に受理されたので、来年4月を目途に動き出しがある。

段取りとしては8月下旬に教育委員会に条例案を示し、9月議会子ども教育常任委員会へ情報提供する。公運審は9月に条例素案を示して意見を頂く。10月教育委員会で条例を決定し、12月議会で議決し、4月1日付で新しい審議会へ移行する。この公運審は今年度限りで閉会されるので、次回以降に新しい審議会について意見を頂きたい。

③平成23年度予算概要について

事務局 資料4で報告する。

永山公民館

【歳入】前年度と大きく変わる部分はない。複写用紙等売払代金(-244)が少し落ち込んでいるが、実態(決算ベース)に沿った数値である。

【歳出】管理運営費；民間施設との合築で、管理組合による施設管理を行っているため大きな増減額がない。

学級講座費：昨年度と同額予算、備品購入費相当額を講師謝礼に振り向けて充実を図る。特定財源(国補助金・都補助金)確保に努める。

関戸公民館

【歳入】永山公民館(駐車場使用料を除く)と同等程度である。

【歳出】管理運営費：工事請負費(-66,000)やまばとホール解体工事費の差額が減となった。公有財産購入費は特出している。

学級講座費：家庭教育・学校教育支援講座、文化教養分野の講演の充実を図る。桜まつり・花火大会は中止になった。

④平成24年度予算編成に向けて

事務局 次年度以降は財政的に厳しく、全庁的に15%程度切り詰めていかなければならない状況にある。「切り詰められるところは切り詰めて」ということで取り組んでいく。

委員長 次回の委員会で検討すべき資料は配付されるのか。

事務局 改めての資料提出は難しい。事業計画書・平成23年度予算概要を参考に、公民館事業への提案、意見を頂きたい。

⑤その他

公運審要点録について

多摩市公式HPに掲載している。平成22年度第4回審議会、(5)その他、③都公連加盟の是非について、6行目：都公連退会について「稲城市をはじめ近隣数市でも」と一部字句修正を行った。

委員長 以上で閉会します。